

大久保委員からのご意見

林務部各位

おはようございます。委員会は本日ですね。

委員が、参加できない日程になったときは事前に事務局からご説明と委員の意見を言う場を作って頂けると助かります(普通の役所は一般的にやっていますので、連絡がくるものと思っていました)。知事からもしっかり対応するようにご指示を受けていただけない、そのままというわけにもいきません。ご連絡があるかと思っていたら何もなかったもので、少々驚きましたが、何もいわないわけにもいきませんので、今朝ほど気が付いたので、取り急ぎメールだけします。

本メールを配布ください。また、時間がないので、乱文をご容赦ください

- 研修の枠組みはできたと思います。が、根本原因を解決するための内容になっているのか検証が必要です。特に、専門外の人と専門性の高い人との対話の機会を、研修、あるいは、ディスカッションの場として用意すべきだと思います。結果としてできるのではなく、意図して計画する必要があります。
- 次に、各種会議があるかと思いますが、その運営方法がどうなっていますでしょうか。私が以前から言っているように、相互に質問を中心とした会議の運営になっていますでしょうか。頂いた資料だとそこが見せません。伝達と多少の意見交換があっても、適切な質問ができるような場になっていないと効果がありません。それとセットではありますが、根本原因を探求する習慣がついているか、それを検証するようなことができていますでしょうか。大事なことは会議体の設定ではなく、その運用がどうなっているかです。
- 次に、各種会議の課題設定等が適切になされているでしょうか。報告事項を少なくし、議論の時間をきちんとつくっているでしょうか。それらを議事要旨(議事録は不要)をとるなどして、検証する仕組みが必要です。
- 今の林務部に必要なのは、一通り形ができてきました。しかし、その運用が本当に効果のあるものなのか。また、効果のあるようなしかけができていないのか。そのあたりを具体的に説明頂くとともに、できていなければ、そこを中心としてください。形だけ作っても意識が変わらなければなにか変わりません。
- これも、いつも言っていることですが、言語化された明確なビジョンができていますか。各職場(課)レベルでも必要です。部長の考えるビジョンも明示頂きたいです。そのビジョンとは、どのような職場にしたいのかというのを具体的に言語化したものです。働き方改革、組織風土などを具体的にビジョンとして示すものです。
- 県が推進しているリスクマネジメントの資料がはいっていません。具体的なリスクとそれのマトリックス、などを提示してください。また、三行報告は、林務部が率先してお願いします。

私が行っている貴県の最近幹部研修、コンプライアンス研修で何度も繰り返し申し上げていることなので、林務部としては十分に理解をしているはずですので、県全体の動きとも整合性をとりながら、林務部が先端的な事例になるようにお願いします。

このメールだけでは私の言いたいことが十分に理解できない部分もあるかもしれません。次回から欠席する委員に対しては、事前の説明と意見聴取するくらいは誠意はとっていただきたいと思っています。欠席ならば意見は言われなくてもいいし、ということでは、知事のご期待に沿えませんし、こちらにも責任がもてません。また、当方も暇ではありませんので、言わなければ何も意見なし。というのは、如何でしょうか。

林務部のやる気のなさが表面化しているようにも感じます。県全体のコンプライアンス会議も、部長の代理のご出席が多いようにも感じます。忙しくても優先順位というものがあります。

いずれにしても、コミュニケーションができず、資料だけをみるかぎりでは、立派な”形”ができたとしか読み取れず、本当に効果のあるものができたのかは、甚だ疑問を感じる内容です。

添付ファイルをしますが、私が何度も申し上げていることを最近まとめていますので、林務部の職員全員に読んでほしいものです。そして、単なる知識ではなく、それを踏まえて再点検を願いたいと思います。一つ一つの会議体のもつ意味をよく考え、それを効果的にするためにどのような施策をしているのか。

私の指摘を踏まえた本日の説明について、後日議事録を拝見します。そこで、しっかり進捗を確認させていただきますので、きちんと説明をしてください。

なお、林務部に対する全般的な私の最近の印象は、少し、気が緩んで、危機感が薄れているのかもしれない。とすら、感じるの私だけでしょうか。

本気で改革をする意思を期待します。

本メール全文を公式な配布資料として公表対象ともしてください。よろしく願いいたします。

新日本有限責任監査法人

シニアパートナー

公認会計士 大久保 和孝